



August 8, 1985

Cable No. 1373, Charge d’Affaires Tanabe to the Foreign Minister, 'Problem of the Release of the American Hostages (Meeting between Special Envoy Nakayama and Majlis Speaker Rafsanjani)'

Citation:

"Cable No. 1373, Charge d’Affaires Tanabe to the Foreign Minister, 'Problem of the Release of the American Hostages (Meeting between Special Envoy Nakayama and Majlis Speaker Rafsanjani)'" , August 8, 1985, Wilson Center Digital Archive, Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan, File No. 2017-0631. Translated by Stephen Mercado. <https://wilson-center-digital-archive.dvincitest.com/document/270600>

Summary:

A telegram from Japanese diplomat Ryuichi Tanabe to the Foreign Minister summarizing a meeting between Special Envoy Nakayama and Majlis Speaker Rafsanjani about the American hostages in Lebanon. Special Envoy Nakayama is delivering a letter from Prime Minister Nakasone.

Original Language:

Japanese

Contents:

Original Scan
Translation - English

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

極秘

電 信 局 限定配布

大政事務官	外事官	外務省	官房	典房	長
次長	審長	審長	審長	審長	長
大外使	査察使	特使	査察使	査察使	博代表
総務課	対文会	厚情	オ	オ	
審察人	在儀	警史			
外報官	審報内	際外			
文長	一二				
領移長	参一二	旅査移			
ア長	審地中東	参北東西			
北米長	審一二保				
中南長	審一二				
欧長	参一二	洋西東			
近ア長	参一二	アア			
経長	次参経漁途国	審総経エ国博			
審海					
経協長	審政国開無	参調技有理			
条長	審条協規				
国長	参政経人	参軍社			
科審	科原				
情調長	審情析調	審企安			

総番号 R107732 主管
 年 月 08日 02時 10分 イラン 発着
 60年 08月 08日 07時 57分 本省 近ア局長
 外務大臣殿 田辺 臨時代理大使

米国人人質解放問題 (中山特使とラフサンジャニ議長の会談)

第1373号 大至急
 (限定配布)

往電第1368号に関し、
 7日午前11時30分より約1時間、中山特使はラフサンジャニ議長と国会内「ラ」議長しつ務室にて少人数で会談したところ、概要次の通り (わが方本官他、先方モルシエドザデ第7政務部長他が同席)。

中山特使
 ナカソネ総理より、貴議長への親書を携えて来た。(「ラ」議長へ親書を手交)
 貴議長の日本訪問は、日・イラン関係拡大の為に極めて重要かつ画期的なものであつた。わが国においては、政府のみならず国民も一しよになり国をあげて日・イラン関係の増進をかん迎している。ナカソネ総理は、両国の長期的な協力の為、貴議長による提案を具体化すべく努力されており、近い将来この努力が結実することを期待している。

日・イラン両国間に相互信頼の強固な基盤が作られたことは、貴議長訪日の大きな成果の一つであり、この基盤の上に、日・イラン両国は政治対話を行うことができ

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

電 信 写

る。

ナカソネ総理の親書にも述べられている通り、ナカソネ総理は貴議長と国際テロリズム問題について率直な意見交換を行つたことを高く評価されている。日・イラン両国は、国際テロリズムを否定する点において、同じ立場にあると信じている。貴議長は、TWA機事件解決の為に、シリア政府と協議しじん力されたと承知しており、わが国は、貴議長の道義的立場からのゆう気ある行動を高く評価している。自分は、貴議長に対し、レバノンにおいて依然とらえられたままになっている7人の米国人を含む人質の解放の為に御助力をお願いしたい。この問題が複雑かつさくそうした問題であることは、じゆう分承知しているが、貴議長の高い道義的立場から、何らかの形で働きかけることが可能であると考えられるのであれば、御じん力いただければ有難い。

この種の問題は、単に米国のみの問題ではなく、世界的な混乱と不安の原因となつており、日本もその影響から免がれることはできない。また、わが国は、全世界において平和が維持されることを望む立場からも、このような問題をかん過することはできない。



注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

電 信 写

「ラ」議長

貴特使のイラン訪問をかん迎する。ナカソネ総理の親書は、よろこばしくはい見した。自分の日本訪問の際のナカソネ総理のあたたかなかん待と、てん皇へい下、関係閣僚その他の人々が自分及び随員一行に示されたもてなしに対し、この機会に謝意を表したい。また、将来、自分の日本訪問が具体的成果となつてあらわれることを期待している。

レバノンにおける米国人人質の問題は、イランとしても非常に重要な問題であると考えている。われわれには、レバノンにおける米国の目的及び活動には、はつきりしないところがあるように見える。われわれはこの問題は、(米国が)レバノンにおけるなんらかの目的を達する為の策略なのではないか、という疑念を有している。何故なら、もし本当にレバノンにおいて米国人がとらえられており、米国が真げんに彼らの解放を望んでいるならば、米国はより重大な行動に出ると思えるからである(しかるに現実にはかかる行動に出ていない)。

TWA機事件が解決されれば、イスラエルにシーア派のほりよ300人(人数は先方発言のまま)を解放させる旨レーガン大統領が、アサド・シリア大統領に約そくしたので、イランとシリアはTWA機事件解決の為に努力したが、米国は未だ約そくをり行しておらず、300人のシーア派レバノン人はイスラエルにとらえられたままとなっている。

自分は、日本がこの人道的問題にゆう慮を示し、貴特使を派遣されたことを感謝する。米国の真意に対するわれわれのさい疑はさておくとしても、レバノンにおける米国人人質解放の為に米国は何をしたらろうか。「米国は、まずイスラエルをしてとらえ

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

電 信 写

られているレバノン人を解放させるべきであり、TWA機事件における合意を守るべきである」ということを、ナカソネ総理に対するメッセージとして伝えてほしい。もし以上のことが実行されれば、その時はじめてわれわれはシリアと共同して人質解放のためなんらかの行動を取り得るし、またわれわれ自身としても影響力を行使しうるであろう。まず、米国は約束したことを守るべきである。また自分が知る限りでは、レバノンにおける米国人人質問題はクウェイトにおける爆破事件と関連していると承知している。

中山特使

自分は、(米国とイランの間の) いくつかの誤解が最後には不幸な結果に結びつくことをけ念している。貴議長とナカソネ総理は、相互信頼関係にあるが、総理が自分を特使として派遣されたのは、総理御自身が、米国は本件人質解放をちゆう心より願っていることを知っておられるからである。自分は、今ばんにもナカソネ総理に電話し確認することもできるが、総理も自分と同意見であられると思う。(貴国と米国の間に) 誤解が生じるのは、両国間に外交関係がない為ではないか。何らかの方法でこの米国とイランの間の深いギャップをうめることが重要であろう。

貴議長は、クウェイトの事件に触れられたが、本件は理性に基づき解決されるべきである。また、イスラエルにとらえられているレバノン人のほりよの問題は、段階的に解決されることと思う。

「ラ」議長

問題点は明確である。まず、イスラエルにこう留されているレバノン人を約束に基づき解放すべきである。クウェイトにおける問題は、レバノンにおける問題とは性格

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2173)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

電 信 写

が異なるが、まず米国が約そくを守らないことには、われわれとしてレバノン人に何も言うことができない。なぜならば、レバノン人は、米国はシリアとイランをあざむいたと受け取っているからである。われわれは、米国がこの問題の真の解決を望んでいないのではないか、との疑念を有している。米国がわれわれに何かを望むのであれば、まず米国が行動しなくてはならない。

中山特使

米国とイランの間に、より確固としたなんらかの形のわく組を作り得ないものか。また、貴国はまず米国の行動を要求するが、イスラエルにとらえられているレバノン人の問題とレバノンにおける7人の米国人人質の問題をリンクすることなく解決に導くことを考えるべきではなからうか。例えば、貴国が7人の米国人人質解放の為に努力し、右が実現すれば、イスラエルは、自国がこう留しているレバノン人の解放に向けての圧力を受けるであろうし、局面は貴国にとり好い方向にむかうと思う。

「ラ」議長

イスラエルにとらえられているレバノン人の問題は、TWA機事件とリンクしているものであり、レバノンにおける米国人人質解放問題とは関連していない。米国がTWA事件で行った約束を守らない限り、われわれは何もできない。

中山特使

貴国のこの問題についての立場、貴国の米国に対する見方（不信感）等を米国に伝えても差しつかえないか。

「ラ」議長

差し支えない。

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

電 信 写

中山特使

特に如何なる点につき伝えればよろしいか。

「ラ」議長

われわれは、米国との間でこの問題につき交渉する立場にない。この問題は、米国とレバノン間の問題であり、われわれは、貴国にわれわれの立場を説明しているだけである。

中山特使

御説明に感謝する。ナカソネ総理に詳しく御説明したい。また、自分が(本件で)再度貴国を訪問するようなことがあればよろしくお願ひしたい。

「ラ」議長

イスラエルにとらえられているレバノン人の問題が解決されるまでは、自分にはこれ以上に何も言うことはない。貴特使は、自分がこのようなことを話したゆい一の人である。

中山特使

TWA機事件の際のように、ダマスカスと協力してもらうことは可能か。

「ラ」議長

TWA機事件においては、レバノンに飛行機と人質がいるのが明確であつたが、米国人質問題は、現在人質がどこにいるのかさえ明確ではない。まず、米国が約束を守るべきである。

御見こみにより転電願ひたい。

(了)

Number: R107732

Primary: Middle Eastern and African Affairs Bureau Director-General

Sent: Iran, August 8, 1985, 02:10

Received: MOFA, August 8, 1985, 07:57

To: The Foreign Minister □

From: Tanabe, Charge d'Affaires ad interim

Problem of the Release of the American Hostages (Meeting between Special Envoy Nakayama and Majlis Speaker Rafsanjani)

No. 1373 Top Urgent

(Limited Distribution)

Re: Outgoing Telegram No. 1368

From 11:30 on the morning of August 7, for approximately one hour, Special Envoy Nakayama had a meeting with Majlis Speaker Rafsanjani in his office in the Parliament with a small number of persons present. A summary of its main points follows below. (Other officials and I attended on our side; Seventh Political Bureau Director Morshedzadeh and others attended on the other side).

Special Envoy Nakayama: I have brought with me from Prime Minister Nakasone his letter for you, Mr. Speaker (passes the letter to Majlis Speaker Rafsanjani). Mr. Speaker, your visit to Japan was extremely important and epochal for the expansion of relations between Japan and Iran. As for our country, it is all of Japan - not the government alone but together with the Japanese people - that welcomes the advance in relations between Japan and Iran. Prime Minister Nakasone, for the sake of long-term cooperation between our two countries, is making efforts to make concrete your proposals, Mr. Speaker, and looks forward to these efforts bearing fruit in the near future.

The building of a firm foundation of mutual trust between Japan and Iran is a major result of your visit to Japan, Mr. Speaker. Upon this foundation, Japan and Iran are able to conduct political dialogue.

As stated in Prime Minister Nakasone's letter, Prime Minister Nakasone highly evaluates the frank exchange of views conducted with you, Mr. Speaker, on the problem of international terrorism. We believe that, as to the point of rejecting international terrorism, Japan and Iran have the same position. Mr. Speaker, we know that you have consulted with the Syrian government and made efforts for the resolution of the TWA Incident. Mr. Speaker, our country highly evaluates your courageous action taken from a moral position. I would like to request of you, Mr. Speaker, your help to free the hostages, including the seven Americans, who remain captive in Lebanon. We understand that this problem is a complicated and intricate one. I would be grateful for your efforts, Mr. Speaker, if you think it possible to work on it in some form from your high moral position.

This kind of problem is not one simply for the United States alone. It has become a source of global disorder and unease. Japan, too, cannot avoid its repercussions. Also, from the position of desiring the maintenance of peace throughout the world, our country cannot overlook such a problem.

[TN: section of text blacked out]

Majlis Speaker Rafsanjani:

Special Envoy, we welcome your visit to Iran. I was happy to read Prime Minister Nakasone's letter. I would like on this occasion to express my gratitude for Prime Minister Nakasone's warm reception at the time of my own visit to Japan and for the hospitality that His Majesty the Emperor and the ministers and others involved showed me and my party. Also, I hope for concrete results to appear in the future from my visit to Japan.

Iran, too, considers the problem of the American hostages in Lebanon to be an extremely important one. For us, there are points in the aims and activities of the United States in Lebanon that seem unclear. We suspect that this problem may be a stratagem of the (the United States) to achieve some aim in Lebanon. The reason why is that one can imagine that, if Americans were truly seized in Lebanon and if the United States earnestly desired their liberation, then the United States would take greater action (on the contrary, in reality the United States has not taken such action).

President Reagan, who said that he would free the 300 (the number the other side gave) Shiite prisoners in Israel if the TWA Incident were resolved, made a promise to Syria's President Assad. Therefore, Iran and Syria made efforts to resolve the TWA Incident. The United States, however, has still not fulfilled its promise; the 300 Shiite Lebanese remain held in Israel.

I thank Japan for expressing concern over this humanitarian problem and for having sent you, Special Envoy. Even putting aside our suspicions regarding the true intent of the United States, what has the United States done for the release of the American hostages in Lebanon? I would like you to convey to Prime Minister Nakasone this message: "The United States should first have Israel release the Lebanese held captive and follow through on its agreement on the TWA Incident." If this were carried out, we may then be able to take some action in concert with Syria for the release of the hostages and exercise our own influence. First, the United States should follow through on what it has promised. Also, as far as I know, the problem of the American hostages in Lebanon is understood to be related to the bombing incident in Kuwait.

Special Envoy Nakayama:

I am concerned about some misunderstandings (between the United States and Iran) ultimately leading to unfortunate consequences. Mr. Speaker, you and Prime Minister Nakasone have relations of mutual confidence. It is because the Prime Minister knows that the United States sincerely desires the release of these hostages that he has sent me as special envoy. I could call Prime Minister Nakasone this evening and confirm it, but I think that the Prime Minister has the same view as I do. Is it not because there are no diplomatic relations between your two countries that misunderstandings have arisen (between your country and the United States)? I think it necessary to fill in somehow this deep gap between the United States and Iran. Mr. Speaker, you mentioned what happened in Kuwait. This matter should be resolved on the basis of reason. Also, I think that the problem of the Lebanese held captive in Israel prisoners is one to be resolved in stages.

Majlis Speaker Rafsanjani:

The problem is clear. First, the Lebanese held in Israel should be freed on the basis of the promise made. The problem in Kuwait differs in character from that in Lebanon. First, with the United States not keeping its promise, we can say nothing to the Lebanese. The reason is that the Lebanese think that the United States deceived Syria and Iran. We suspect that the United States may not desire a real resolution of

this problem. If the United States expects something of us, then, first, the United States must act.

Special Envoy Nakayama:

Is it not possible to build in some form a stronger framework between the United States and Iran? Also, your country calls for the United States first to take action, but should we not consider how to lead to a resolution without linking together the problem of the Lebanese held captive in Israel and that of the seven American hostages in Lebanon? For example, if your country makes efforts for the release of the seven American hostages and what I have just mentioned is achieved, I think that Israel would come under pressure to release the Lebanese detained there and that the situation would turn in a direction favorable to your country.

Majlis Speaker Rafsanjani:

The problem of the Lebanese held captive in Israel is linked to the TWA Incident. It is not related to the problem of the release of the American hostages in Lebanon. So long as the United States does not keep its promise made in the TWA Incident, we can do nothing.

Special Envoy Nakayama:

Do you have any objection to our informing the United States of your country's position on this problem, your country's view (suspicion) regarding the United States, and such?

Majlis Speaker Rafsanjani:

I have no objection.

Special Envoy Nakayama:

What kind of points in particular should I convey?

Majlis Speaker Rafsanjani:

We are not in a position to negotiate on this problem with the United States. This is a problem between the United States and Lebanon. We are simply explaining our position to your country.

Special Envoy Nakayama:

Thank you for your explanation. I would like to give a detailed explanation to Prime Minister Nakasone. Also, if I were to visit your country again (in relation to this matter), I would like to ask for your support.

Majlis Speaker Rafsanjani:

Until the problem of the Lebanese held captive in Israel is resolved, I have nothing more to say. Special Envoy, you are the only one to whom I have spoken of such things.

Special Envoy Nakayama:

As with at the time of the TWA Incident, would it be possible to have you cooperate with Damascus?

Majlis Speaker Rafsanjani:

In the TWA Incident, it was clear that there was an airplane and hostages in Lebanon. With the problem of the American hostages, even where the hostages are at present is not clear. First, the United States should keep its promise.

I would like you to please relay this.

(End)